

マーケティングの出番ですか？

第84回 統合化された個人データ (DXY) の副次的、そして本質的な価値

武道誠芳 (株) テンプロクシー 代表取締役

今回は、前回に提唱した統合化された個人データ (DXY : デジタルトランスフォーメーション・ユアセルフ) が個人にもたらす副次的な価値と、データ流通市場にもたらす本質的な価値について考察を加えたいと思います。

●あなたの個人データの価値を金額にすると？

GAF Aは様々な無料サービスを提供することで個人データを収集し、それを広告ビジネスとして収益化しているのはご存じの通りですが、それでは一体、その金額はどれぐらいでしょうか？個人から許可を得て広告主にデータ販売を行うpermission.io社のサイト (<https://permission.io/own-your-data/>) から抜粋・引用してご紹介します。「Facebook、Google、およびその他のデジタル広告ブローカーは、ターゲティングにデータを使用します。彼らはあなたの行動とあなたの消費者プロフィール (あなたの好み、ライフスタイル、人生のステージ、他様々な属性、閲覧履歴等) をキャプチャします。

The Status Quo

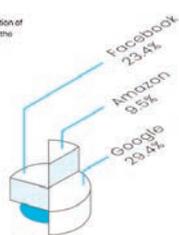
Web 2.0's economy has been driven by the aggressive collection of user data. Google, Amazon, Facebook increasingly dominates the data economy with over 70% of digital advertising spend.

60% of marketers have installed ad blockers to escape intrusive advertisements

87% of consumers would opt out of having their personal information sold to third parties

8x cost of gaining consumer attention has escalated by a factor of 8 in the past 2 decades

50B Estimated global loss in 2020 due to bots and click fraud



Facebookは、ユーザーについて多くのことを知っていることで成長しています。平均的な米国のユーザーは、サイトで1日約40分を費

やしており、Facebookは定期的に一連の統計アルゴリズムを実行して、ユーザーを広告主が宣伝したい製品と照合します。2017年、オンラインFacebook広告の平均クリック単価は1.72ドルでした。これは、分析および評価できる膨大な種類のデータに由来するプレミアム価格です。もう1つの巨人であるGoogleは、この分野でFacebookに匹敵することはできませんが、米国市場の80%のシェアを持ち、検索広告を支配しているGoogleAdwordsでそれを補っています。

2017年の米国におけるデジタル広告の総収益約830億ドルを、米国のインターネットユーザーの人口 (約2億8700万人) で割ると、一人当たり平均289.19ドル/年になります。プロフィールだけでもこれだけの収益価値を持っています。]

因みに、2018年にハーバード大学のR. Sunstein氏が行った主要SNSに対する支払意志額 (有償だった場合に払っても良いと考える額) のパイロット調査ではFacebookの支払意志額は平均で1,760円/月との結果があり、偶然かもしれませんが個人データの収益額とサービス対価が近似値になっています。

従来、個人がデータの価値を意識することはほとんどありませんでしたが、個人情報情報の漏洩や情報を乱用した広告やプロモーション、さらに最近富みに増加する迷惑メール等の弊害から、個人データの安心・安全な運用、

データ流通のあり方が改めて問題提起されています。

●個人データの新たな収集、提供方法と収益化の展開

GAF Aに代表される無料サービスを通じたデータの自動収集、および流通モデルの対抗軸として、内外2社の展開をご紹介します。

【大日本印刷株式会社 (DNP)】

(<https://www.dnp.co.jp/biz/theme/info-bank/> より抜粋・引用)



DNPは、「情報銀行」という仕組みを基に、生活者の代わりにパーソナルデータを管理し、生活者の同意の範囲内でパーソナルデータを第三

者に提供します。情報銀行とは、生活者と企業のリレーションの在り方を根本的に変えて、生活者の豊かな暮らしを実現するための仕組みです。

(特長)

1. 生活者が保有する膨大なデータを整理しながら格納するデータ管理機能
2. 生活者が情報提供先を包括的に選択できる包括同意機能 (コントローラビリティ)
3. 独自のブロックチェーン技術を利用した証跡管理機能 (トレーサビリティ)
4. 脆弱性・不正アクセス対策など、情報信託機能の認定指針に準拠したセキュリティ機能

これにより、パーソナルデータを利用する企業は情報銀行を介して正確な顧客分析やニーズに合った商品、サービスの提供が可能になります。

情報銀行は、個人データの流通市場の形成を目的とした日本独自のユニークな展開であり、個人データの価値の啓発を始め、データ価格の形成機能等、今後の動向が注目されます。

【Opiria (ドイツ)】

(https://www.opiria.com/pdata_japanese/ より抜粋・引用)



Opiriaは、企業が消費者データを収集および分析できるブロックチェーンを活用した市場調査プラットフォームを開発しており、以下の機能を有しています。

- 誰とどのデータを共有するかを消費者が自分でコントロールできる。
- 消費者がデータの提供に対して対価を受け取れる。

● データは、仲介者を介さず、消費者から企業に直接渡される。

データの売買のためのグローバルな分散型マーケットプレイスを構築し、消費者と企業間のデータ提供方法を変革します。消費者はデータを共有するための暗号通貨トークンでデータの価値を収益化でき、企業はOpiriaの市場を通じて大量の高品質の消費者データを取得できます。Opiriaのプライバシーとセキュリティ機能により、消費者は共有したい個人データとそれを誰と共有するかを決定することもできます。この革新的なアプローチにより、最終的に消費者はデータを完全に管理できるようになり、企業はビジネスプロセスの消費者データを取得するための合法かつ効率的な方法を利用できるようになります。

最新技術を駆使したプラットフォームで個人と企業の直接的なデータ売買サービスを目指しており、個人情報に対する意識の高い欧米を始め、当ビジネスモデルの進展が注目されます。

●個人データの啓発活動My Data Global

(https://www.opiria.com/pdata_japanese/ より抜粋・引用)

「MyData Global」は、「個人がパーソナルデータを自分自身のために使い、自分の意思で安全に共有できるようにする」という考え方を、世界に発信する組織として2018年に設立されました。MyDataカンファレンスは毎年フィンランドのヘルシンキで開催され、ヨーロッパをはじめ、日本、アメリカなど世界各国から参加者が集まっています。オープンナレッジの活動として技術的



なものから法的なものまで、世界中でさまざまな取り組みがあり、グローバルな組織として、世界の様々な拠点において活動を強化しています。

これらの新たな展開は、個人データのあり方が転換期を迎えていることを意味しています。

それは、個人データが収益化できるという副次的な価値、そして、高品質のデータを利用することで企業は真に革新的な商品を開発できるという本質的な価値をもたらします。

当コラムのより詳細なオリジナル版は、<https://www.mo4ma.org>でご覧頂けます。



武道 誠芳 (マネジメントコンサルタント)

所属：(株) テンプロクシーにて、コンサルティングサービス、マーケティングサービス、ロボットビジネスを展開

生年：1960年生まれ

出身：富山県出身

学歴：横浜市立大学商学部卒業

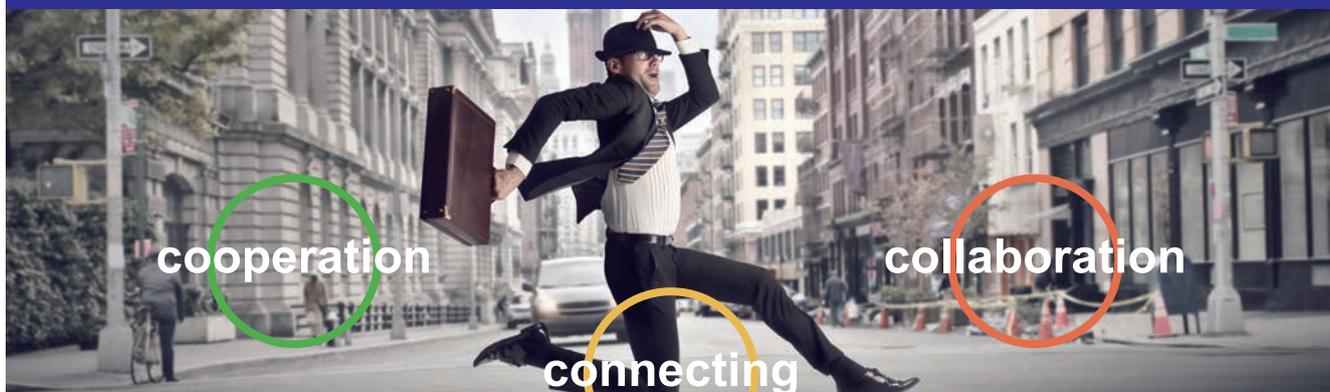
経歴：外資系コンピュータメーカー、システムコンサルティング会社、サイバ

ン航空事業への参画後、1996年起業
問合せ先：s.budo@tenproxy.co.jp

独創的な新製品／サービス・事業開発を実現する マザー・マーケティングプラットフォーム

mo4ma

thership 4 marketers



mothership4marketers は、業種、組織、時間、距離を超えて内外のマーケティング実務者をオープンに結びつけ (Connecting)、共同 (Cooperation)、協力 (Collaboration) することで新製品／サービス・新事業開発を成功させる『次なる段階』のマザー・マーケティングサービスプラットフォームです。



mo4ma
<https://www.mo4ma.org/>

テンプロクシー 〒153-0065 東京都目黒区中町 2 丁目 50 番 13 3 階・ピーク 4F 号 Tel. 03-6412-8780 info@mo4ma.org
ウェルコインターナショナル 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-10-9 原宿華友ビル 8F Tel. 03-6418-5519 info@wellco.org

資料請求番号 12106-04701